

## 平成 26 年度第 1 回リニモ沿線地域づくり会議における委員提言・要望への対応状況

提言・要望内容	行政の対応方針
<p>○ 構想の見直しに関するコンサルタントを使った調査の中で、アウトカムについても盛り込めたらよいと思う。具体的には、人口や地価の変化と、リニモの乗客数の変化をできる範囲で調べてほしい。</p> <p>【島田委員（リニモねっと代表）】</p>	<p>今年度、調査研究会事業として実施している「リニモ沿線地域づくり構想」今後の取組の検討に係る基礎調査においては、①有識者、NPO、民間企業等へのヒアリングの実施と②先進事例調査の 2 項目を委託していますが、ご指摘のあったアウトカム指標については来年度の委託調査において実施することとしています。</p> <p>なお、見直し後の構想には、これまでの取組の成果指標として、構想策定時と平成 26 年 4 月現在の比較を盛り込んでいきたいと考えています。</p>
<p>○ 構想の取組の検討を進めていく中で、難しい施策は後回しにし、いくつかの施策に絞って優先的に進めていくことが現実的だと思う。</p> <p>【井沢委員（愛知工業大学学務部次長）】</p>	<p>現行の地域づくり構想では、主要施策について、「短期」・「中期」・「長期」に区分けし、施策の実施時期を示しています。</p> <p>見直し後の地域づくり構想では、これをさらに一歩進め、構想策定時以降の情勢変化により、実現の可能性がない施策については、思い切って削除することとし、次期の目標年次までに優先的に取り組むべき施策に絞って盛り込むこととしたいと考えています。</p>
<p>○（「テーマ性のあるプロムナードの形成」に関連して、）愛・地球博記念公園駅の周辺では、県立大学生の通学時間に、大勢の学生が横断歩道を使い、渋滞が起こるとい苦情が殺到している。また、公園西駅や芸大通駅の周辺道路は不便などところがあるので、今後利用客が増えていくのに併せて、通学路の整備も考えてほしい。</p> <p>【松宮委員（愛知県立大学教育福祉学部准教授）】</p>	<p>今後のリニモ沿線の開発に伴う利用客の増加を考慮し、学生等の通学利用も含め、歩行者の安全対策や周辺道路整備に関して、関係者と検討していきたいと考えています。</p>
<p>○ 藤が丘駅や、はなみずき通駅の前の花壇は、地元ボランティアが有志で整備している。公園西駅などでも、地元の方や学生が整備するというを、地域づくり構想の主要施策の、「テーマ性のあるプロムナードの形成」に組み入れてほしい。</p> <p>【松宮委員（愛知県立大学教育福祉学部准教授）】</p>	<p>現行の地域づくり構想では、主要施策のうち、「テーマ性のあるプロムナードの形成（沿線施設へのプロムナード整備）」については、芸大通駅と陶磁資料館南駅の 2 駅を主な取組エリアとしていますが、今後、利用客の増加が見込まれる他の駅についても、本施策の対象となりうるかを検討していきたいと考えています。</p>
<p>○（「駅周辺での芸術活動の場の整備の推進」に関連して）陶磁資料館南駅だけ乗降客数が極端に低いので、陶磁美術館の企画も含め、駅から陶磁美術館にかけてのプロムナードをどうするか検討いただきたい。</p> <p>【瀬口委員長】</p>	<p>現行の地域づくり構想では、主要施策のうち、「駅周辺での芸術活動の場の整備の推進」については、近隣大学との連携を進めることで芸術・文化を通じた賑わいの創出を図ることとしています。そのため、芸大通駅と古戦場駅の 2 駅を主な取組エリアとしていますが、陶磁資料館南駅についても、駅から陶磁美術館までのプロムナードをより魅力的なものとすることは重要と考えられますので、乗降客の増加を図る観点から、沿線大学との連携も視野に入れながら、具体的な施策を打ち出せないか関係者と検討していきたいと考えています。</p>

提言・要望内容	行政の対応方針
<p>○ 八草駅は乗り換え拠点なので、住宅に限らず幅広く今後の方針を検討し、新しい構想に入れていただきたい。例えば、地域と協働で道の駅を造ると良いと思う。</p> <p>【瀬口委員長】</p>	<p>【瀬戸市】</p> <p>八草駅に近い上之山団地は、現在、造成工事が完了し宅地販売されている状況であり、今後、瀬戸市南部地域の新たな生活拠点として、若い世代の居住が推進される等、大変期待しています。</p> <p>これまで、八草駅周辺の取り組みとして愛知万博瀬戸会場跡地である「愛・パーク」を活用し、上之山団地等の近隣住民のみならず、イベント等の開催により市外からの来訪者を呼び込むなど、リニモ沿線地域の活性化に努めてきたところです。</p> <p>道の駅の設置につきましては、瀬戸市においては平成22年度に「道の駅瀬戸しなの」をオープンし、道の駅の有効性等について今後検証をしていくところであり、新たな道の駅の検討については、現時点では未定です。</p> <p>【豊田市】</p> <p>八草駅南部（豊田市）では、地元組織であるまちづくり推進委員会を中心に「まちづくり」を進めています。その中で、住宅地整備だけではなく、駅周辺の魅力向上についても検討しています。来年の3月を目標に、駅周辺の構想を含めたまちづくり構想図を作成する中で道の駅の設置も含め、検討していきたいと考えています。</p>
<p>○ リニモにICカードが導入されるにあたり、沿線の店舗や施設でもICカードが使えるようになると良い。</p> <p>【瀬口委員長】</p>	<p>リニモに導入するICカードは、名鉄系のマナカが想定されています。</p> <p>現在、ICカードは全国10種のカード間で相互利用が可能となっており、乗車券や店舗での決済機能など、その利便性は高まっており、リニモへの導入によって、今後沿線への進出が予定されているイオンやイケアを始め、既存の施設においてもICカードへの対応が進むものと考えています。</p> <p>なお、愛知県では、乗車券や店舗等での決済機能のほか、学生証などへの応用も視野に入れるべきと考え、平成26年8月に、マナカ発行企業による沿線大学へのICカード機能の説明会を開催しました。マナカ関係企業の今後の取組にも期待しているところです。</p>
<p>○ ICカードの導入を、リニモ沿線地域づくり構想に入れるべきだと思う。周辺施設でのICカード利用を先進的にこの地域で導入することを提案できると良い。</p> <p>【瀬口委員長】</p>	<p>ICカードのリニモへの導入については、リニモ沿線地域づくり構想の策定時には想定していなかった事情であるため、今回の地域づくり構想の今後の取組の検討を進めていく中で、新たな取組の一つとして盛り込んでいきたいと考えています。また、それによって、リニモ沿線の活性化に弾みがつくものと考えられます。</p> <p>ICカードの導入は、名古屋市営地下鉄やコミュニティバスへの乗り換えの利便性向上だけでなく、今後沿線への進出が予定されているイオンやイケアを始め、既存の施設においても電子マネーとしての利用やリニモ乗車証明機能による各種特典付与などICカードを利用した様々な取組につながることを期待されています。</p> <p>また、沿線大学や企業の学生証や社員証などにICカード機能を付加することにより、各施設独自のシステムとの連携を図ることができ、ICカードはリニモ沿線の活性化の重要なツールとなりうるものと考えられます。</p>
<p>○ イケアの利用客のほとんどは、大きな荷物を持って帰り、車の利用も多いと考えている。イケアもイオンもかなりの交通渋滞が予想されるため、今から対策を考えるべきだと思う。また、今後土地区画整理が進み、住宅が建てられると、自家用車の利用による渋滞も増えると思うので、その対策も考えていく必要がある。</p> <p>【土居委員（豊田商工会議所専務理事）】</p>	<p>リニモ沿線の交通渋滞については、現時点においても、モリコロパークのイベント開催時の公園周辺の渋滞や夕方の県道田名古屋線の渋滞が見られるところです。今後、イケア等の商業施設出店や全国都市緑化フェア開催に伴って、さらに渋滞の深刻化が懸念されることから、平成26年1月より、沿線開発や沿線活性化に関する様々な課題を検討するため、部局横断的に設置している「リニモ沿線活性化ワーキンググループ」において、「リニモ沿線の交通渋滞対策」を議題として検討を開始しています。</p> <p>また、地域づくり構想の今後の取組の検討にあたって、新たな取組として交通渋滞対策を盛り込んでいきたいと考えています。</p>

提言・要望内容	行政の対応方針
<p>○ イケアやイオンが出店するにあたり、近郊にある他の商業施設への売り上げへの影響について、しっかりと研究した方が良いと思う。 【土居委員（豊田商工会議所専務理事）】</p>	<p>今年度、調査研究会事業である「リニモ沿線地域づくり構想」今後の取組の検討に係る基礎調査において、先進事例調査を実施していますが、その調査の中で、他地域において大規模商業施設が出店した後の、近隣にある他の商業施設への影響について、様々な観点から分析することとしており、その成果を地域づくり構想の取組を考える際の参考にしたいと考えています。</p>
<p>○ 徳重駅では、行政と企業の協力の下、アピタと駅のアクセス部分に公共施設を置いている。イケアやイオンについても、同じように、地域と企業が連携した地域づくりができないだろうか。 【清水委員（愛知淑徳大学メディアプロデュース学部教授）】</p>	<p>現在、リニモ古戦場駅とイオンのアクセス間のリニモテラス（公共施設）の設置を計画しています。リニモテラスを介しての地域と企業の連携は必要不可欠であると考え、リニモテラスの活用方法については、地域と企業が連携した地域づくりのしくみを検討していきます。</p>
<p>○ 渋滞対策のために、公園の駐車場料金を見直してはどうか。リニモの利用促進費のようなものを駐車料金に上乗せできないだろうか。 【島田委員（リニモねっと代表）】</p>	<p>県営都市公園の駐車場は、従来から無料であるところ、リニモ利用促進の観点から例外的に愛・地球博記念公園については有料とし、なおかつ利用料金についても、条例で定めた金額（普通車 400 円／回）を、公園の供用開始と同時に、指定管理者が変更可能な上限に近い金額（500 円／回）に変更した経緯があります。条例の改正には、必要性・妥当性の検証などを十分に行う必要があり、早急な変更は困難であることから、引き続き研究課題とします。</p>
<p>○ 大井川鉄道では、電車にトーマスの顔を付けることで、利用者が増えている。リニモでも、もっと鉄道ファンに対するPRや、子どもが乗りたいと思える仕掛けづくりなど、今とは少し違った取組をしてはどうか。 【土居委員（豊田商工会議所専務理事）】</p>	<p>愛知高速交通(株)においては、下記の取組を行っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 鉄道ファンに対する取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 26 年 3 月 3 日から鉄道むすめ「八草みずき」（協力(株)トミーテック）のキャラクターを設定し、デビュー記念としてオリジナルリニモカードを販売</li> <li>・8 月 1 日から「鉄道むすめラッピングリニモ」を運行し、8 月 25 日からは、運行記念のオリジナルリニモカードを販売。リニモチョコロQの購入者特典として、ラッピングシールをプレゼント</li> <li>・昨年からの実施の「ぽぶかるラッピングリニモ」に加え、8 月 22 日からは「知多娘。ラッピングリニモ」を運行。オリジナルリニモカードやラッピングシールプレゼントも実施</li> </ul> </li> <li>2. 子どもが乗りたいと思える仕掛けづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・リニモ沿線合同大学祭実行委員会との連携で、学生考案のキャラクター「りにも～」を車内に装飾した貸切列車「りにも～号」を運行</li> <li>・運転席で運転士気分が味わえる個人向け貸切列車「インディビジュアル・チャーター・リニモ」を運行</li> </ul> </li> </ol> <p>上記はいずれも好評をいただいています。</p>

提言・要望内容	行政の対応方針
<p>○ 今後、愛知高速交通への行政からの出資が増え、実質公営化していくと、住民や関係者の意見が反映されにくくなる。リニモ沿線地域づくり会議が、交通事業者の運営も含めて考えていく場になっても良いと思う。</p> <p>【島田委員（リニモねっと代表）】</p>	<p>リニモ沿線地域づくり会議は、「リニモ沿線地域づくり構想」に掲げるリニモを積極的に活用したまちづくりを推進するため、有識者から幅広く助言をいただくことを目的としています。したがって、この会議で愛知高速交通(株)の運営について議題として取り上げることはできませんが、委員の皆様からそうしたご意見をいただいた場合は、会社及び関係者に確実に伝わるよう努めてまいります。</p>
<p>○ 民間による土地開発区域では若い人を中心に、区画整理による区域では価格を少し高めに設定することにより、中間の年齢の人を中心に呼び込めると、世代が混住するようになると思う。</p> <p>【瀬口委員長】</p>	<p>土地区画整理事業においては、地区計画制度の導入により敷地最低限度を 200 m<sup>2</sup>と広めに設定した上で保留地販売においてはさらにゆとりのある宅地供給に努めていきます。それにより、多様な世代が混住するよう努めて参ります。</p>
<p>○ 長久手市でリニモテラス等について意見交換を行う場合、長久手市内だけでなく、周辺市の大学生も集まると良い。</p> <p>【松宮委員（愛知県立大学教育福祉学部准教授）】</p>	<p>リニモ沿線の活性化にはすでに、長久手市内外の多くの大学生に活躍いただいております、地域のまちづくりに学生の力は必要不可欠と考えています。そのため、リニモテラスの活用を検討する際には、これらの学生にも積極的に参加していただけるような仕組みを検討したいと考えています。</p>
<p>○ リニモ駅周辺でビアガーデンはできないか。8月の利用者増に効果があると思う。</p> <p>【井沢委員（愛知工業大学学務部次長）】</p>	<p>平成 24 年度にリニモ沿線地域づくり調査研究会の支援事業で愛・地球博記念公園の「食の広場」を会場に世界のお酒を用いたイベントを実施した団体があり、好評でしたが、収益事業ではなかったことから継続的な取組には至りませんでした。</p> <p>また、お酒を用いたイベントにより、移動手段を車からリニモへ転換させる効果があると思われませんが、その一方、モリコロパークのような車での来場者が多い施設での実施は、飲酒運転の助長につながりかねないことから、慎重に検討してまいりたいと考えています。</p>